

プログラム

12:20～12:25 開会の辞 会長 柏原健一

12:25～13:05 セッション1「小児科領域」

座長：南岡山医療センター 小児神経科 遠藤文香

01 酸化ストレス障害に伴うてんかんの基礎病態

大守伊織¹⁾、大内田守²⁾、石田紗恵子³⁾、真下知士³⁾

1) 岡山大学学術研究院教育学域、2) 岡山大学学術研究院医歯薬学域、
3) 東京大学医学研究所 実験動物研究施設先進動物ゲノム研究

02 Infantile epileptic spasms syndromeにおけるpyridoxal 5'-phosphate大量療法の有害事象と関連する危険因子の抽出

荒井勇人¹⁾、岡西 徹¹⁾、金井創太郎¹⁾、太田健人¹⁾、野間久史²⁾、前垣義弘¹⁾

1) 鳥取大学医学部附属病院 脳神経小児科、2) 情報・システム研究機構統計数理研究所

03 繰り返す焦点起始発作のため診断に難渋したDravet症候群の1例

青木利紗、城賀本敏宏、矢島知里、元木崇裕、江口真理子

愛媛大学医学部附属病院 小児科

04 Dravet症候群のけいれん性てんかん重積後に軽度の下肢痙性麻痺を呈した1例

奥田太郎、岡西 徹、荒井勇人、金井創太郎、前垣義弘

鳥取大学医学部附属病院 脳神経小児科

05 後頭葉を発作起始とする2種類のとんかん症候群の特徴を経時的に呈した12歳女児

岡田健太郎¹⁾²⁾、岡西 徹¹⁾、荒井勇人¹⁾、金井創太郎¹⁾、前垣義弘¹⁾

1) 鳥取大学医学部附属病院 脳神経小児科、2) 鳥取大学医学部附属病院 遺伝子診療科

13:05～13:45 セッション2「小児科、精神科領域」

座長：岡山大学病院 ジェンダーセンター 松本洋輔

06 ラモトリギン開始後に血球貪食性リンパ組織球症様症状を呈した1例

東本和紀¹⁾、吉田貴弘²⁾、岡村理香子¹⁾、竹谷 健¹⁾

1) 鳥根大学医学部 小児科、2) 鳥根大学医学部 皮膚科

07 左大脳半球萎縮を認め、対側半球にも独立性のとんかん性放電を認めたが機能的半球離断術が奏功したラスムッセン症候群の男児例

立石裕一¹⁾²⁾、江口勇太¹⁾²⁾、出雲大幹¹⁾²⁾、小林良行¹⁾²⁾、瀬山 剛²⁾³⁾、香川幸太²⁾³⁾、飯田幸治²⁾

1) 広島大学病院 小児科、2) 広島大学てんかんセンター、3) 広島大学病院 脳神経外科

08 幻覚妄想状態のみられたJMEの一例

大西英周、真鍋 啓、山本 遼、三宅 進、海野 順
医療法人社団光風会 三光病院

09 聴覚症状を伴うてんかん (EAF) を疑った1例

真鍋 啓¹⁾、齊藤永実¹⁾、大西英周¹⁾、山本 遼¹⁾、三宅 進¹⁾、海野 順¹⁾、森本展年²⁾
1) 医療法人社団光風会 三光病院 精神科、2) 香川県立中央病院 脳神経内科

10 不注意優勢の注意欠如多動症 (ADHD) 患者に発症した顕著な健忘の背景に、一過性てんかん性健忘を同定できた一例

深尾貴志¹⁾、松本洋輔²⁾、高木 学³⁾
1) 岡山大学病院 精神科神経科、2) 岡山大学病院 ジェンダーセンター、
3) 岡山大学学術研究院医歯薬学域 精神神経病態学教室

13:50～14:50 スポンサーセミナー

「良性成人型家族性ミオクローヌステんかん (BAFME) – 発見から病態解明への道程」

座長：医療法人社団あおぞら会 岡山脳神経内科クリニック 柏原健一

S-1 発見の経緯と臨床

安田 雄
倉敷記念病院 脳神経内科

S-2 遺伝子発見と病態

石浦浩之
岡山大学学術研究院医歯薬学域 脳神経内科学

共催：エーザイ株式会社

14:55～15:51 セッション3「外科手術」

座長：岡山大学病院 脳神経外科 佐々木達也

11 Arterial spin labelingが発作起始部同定に有用であった難治性てんかんの一症例

片桐匡弥¹⁾、佐藤達哉²⁾、宮壽健史¹⁾、寺澤由佳²⁾、沼 真吾³⁾、小林宏光³⁾、眞田 敏⁴⁾、
田中朗雄³⁾
1) 脳神経センター大田記念病院 脳神経外科、2) 脳神経センター大田記念病院 神経内科、
3) 脳神経センター大田記念病院 放射線科、4) 脳神経センター大田記念病院 小児神経科

12 非内側側頭葉てんかんにおける切除側と海馬萎縮の関連性

瀬山 剛¹⁾、飯田幸治²⁾、香川幸太¹⁾²⁾、橋詰 顕¹⁾²⁾³⁾、岡村朗健¹⁾²⁾⁴⁾、堀江信貴¹⁾
1) 広島大学脳神経外科、2) 広島大学病院 てんかんセンター、3) 太田川病院 脳神経外科、
4) たかの橋中央病院 脳神経外科

13 80歳以上の高齢者てんかんに対する迷走神経刺激療法の治療経験

藤原敏孝¹⁾²⁾、多田恵曜¹⁾²⁾、高木康志¹⁾

1) 徳島大学 脳神経外科、2) 徳島大学病院 てんかんセンター

14 GABA神経系が関与している脳腫瘍関連けいれん発作に対するレベチラセタム長期投与の有効性の検証

中居永一¹⁾、冨好真沙也²⁾、竹村光広¹⁾、上羽哲也¹⁾、伊藤康一²⁾

1) 高知大学医学部 脳神経外科、2) 徳島文理大学 香川薬学部 薬学科

15 高密度脳波検査(HD-EEG)による側頭葉てんかんの術前信号源推定の有用性と限界

藤井正美¹⁾²⁾、長綱敏和¹⁾²⁾、長光 逸¹⁾、金子奈津江¹⁾、安田浩章¹⁾、山下哲男¹⁾、浦川 学¹⁾、岩根正樹³⁾、佐々木宏典³⁾

1) 山口県立総合医療センター 脳神経外科、2) 山口県立総合医療センター てんかんセンター、3) 山口県立総合医療センター 検査部

16 微少出血痕を原因とする後頭葉てんかんに対して焦点切除術が著効した一例

皮居巧嗣、佐々木達也、谷本 駿、佐々田晋、安原隆雄、田中将太

岡山大学大学院 脳神経外科

17 脳腫瘍摘出術後に発作の完全抑制を得られた乳児てんかん性スパズム症候群の男児例

塚原理恵¹⁾、土屋弘樹¹⁾、秋山麻里¹⁾、佐々木達也²⁾、秋山倫之¹⁾、小林勝弘¹⁾

1) 岡山大学病院 小児神経科、2) 岡山大学病院 脳神経外科

15:55～16:51 セッション4「移行診療、神経内科領域」

座長：岡山旭東病院 脳神経内科 濱口敏和

18 入院を契機に発作コントロール良好であることが判明し抗てんかん薬が減量できた難治てんかんの一例

藤井大樹、進藤克郎

倉敷中央病院 脳神経内科

19 移行診療のpitfall - MTLEの一例から

吉永治美¹⁾、坂井研一²⁾、麓 直浩²⁾、遠藤文香¹⁾、井上美智子¹⁾

1) 南岡山医療センター 小児神経科、2) 南岡山医療センター 脳神経内科

20 当院における小児期発症てんかん患者の移行医療の現状

森本展年¹⁾、森本みずき¹⁾、佐々木諒¹⁾、奈田知明¹⁾、高橋義秋¹⁾、三宅 進¹⁾²⁾

1) 香川県立中央病院 脳神経内科、2) 光風会三光病院

21 先天性サイトメガロウイルス感染症に合併したミオロクニー発作に対してペランパネルが有効であった1例

清水崇宏、種田建太、守安正太郎、谷口晃一、金谷優広、瀧川洋史、花島律子

鳥取大学医学部 脳神経内科

22 低酸素脳症における脳波およびDSA所見と神経学的予後の検討

大野成美¹⁾、音成秀一郎²⁾³⁾、野中 恵¹⁾、山田英忠¹⁾、石橋はるか¹⁾、竹林佳子¹⁾、山崎 雄¹⁾、
飯田幸治³⁾、丸山博文¹⁾³⁾

1) 広島大学大学院医系科学研究科 脳神経内科学、2) 広島大学病院 脳神経内科、
3) 広島大学病院 てんかんセンター

23 両側強直間代発作を反復し植込み型心電計で発作時の心静止を認めた側頭葉てんかん疑いの1例

水本悠希¹⁾³⁾、長綱敏和²⁾³⁾、福迫俊弘¹⁾³⁾、金本将司⁴⁾、藤井正美²⁾³⁾

1) 山口県立総合医療センター 脳神経内科、2) 山口県立総合医療センター 脳神経外科、
3) 山口県立総合医療センター てんかんセンター、4) 済生会山口総合病院 循環器科

24 フェンフルラミン投与によりセロトニン症候群を呈したDravet症候群の一例

中野睦基¹⁾、森 達夫¹⁾²⁾、田山貴広¹⁾²⁾、東田好広¹⁾²⁾、森 健治²⁾³⁾、漆原真樹¹⁾

1) 徳島大学病院 小児科、2) 徳島大学病院 てんかんセンター、
3) 徳島大学医学部 子どもの保健・看護学分野

16:51～ 閉会の辞 会長 柏原健一